



英知結集し挑戦

県内企業トップ 年頭訓示

県内の多くの企業は4日、新年の仕事始めを迎えた。新型コロナウイルス禍を乗り越え、経済活動が活性化することが期待される2023年。各企業のトップは年頭訓示で着実な取り組みで飛躍を遂げる一年にするよう呼びかけた。

変わり続ける勇気大切



私たちを取り巻く環境は大きく、早く変化し、不確実性の高い時代になった。ビジネスモデルの転換や新しい事業への挑戦をしなければならない。試行錯誤や実験を繰り返して、変わり続ける勇氣が大切だ。中期経営計画「Let's Do It」の実現のため、一人一人が仲間を鼓舞し、お客さまと地域を応援し、あらゆることに立ち向かう年にしなければならない。23年はうきぎ年。大きな飛躍の年となるよう活躍を期待している。

創造的な組織へと変革



当社グループは地域総合金融サービス業へと変容していくフェーズにある。この変革への成功の鍵は私たち自身が持つ価値観、考え方をいかに変えることができるのかにかかっている。全

役職員が本質を見極め、失敗を恐れず、前例のないこ

とに積極果敢に挑戦することができれば、現状の殻を破り、多様な価値を認め合い、イノベーションにつながる創造的な組織へと変貌できるはずだ。英知を結集し、地域社会のサステナビリティを高めたい。

スピード、行動力で飛躍



昨年は、コロナ禍を経て世界的なインフレ、景気減速懸念が高まり、戦争や動乱も勃発した。グローバル化した世界の中で、外部環境の不透明感を抱えたまま新年を迎えたが、今年は経済活動再開の本格化を背景に、国内景気を持ち直しが期待される。さらに来年は金庫創立100周年の大きな節目を迎える。えとのウサギは愛らしい外見とは裏腹に、跳躍、スピード、行動力に長けた動物。同様に、当金庫も大きな飛躍の年となることを期待する。

100周年へ集大成の年



多様化するお客さまの課題を解決することは地域金融機関である私たちの使命である。当金庫は、2024年3月に100周年を迎える。今年は、これまで築いてきた100周年の集大成の年であり、これから先100年の礎となる、とても重要な年。これまで支えていただいた一人一人のお客さまに感謝の気持ちを持ち、全役職員が精いっぱい努力をし、より多くの課題を解決することにより、お客さまと地域社会へ心を込めて恩返しをしていきたい。

個の付加価値を高める



「良い人財」の確保に向け、
個の付加価値を高める年。世界的なインフレ状況下で、人手不足対策や福利厚生の実が求められている。そのニーズに応えるべく、今までのデジタルトランスフォーメーション、改革と働き方改革の成果を全社に拡大し生産性を上げ、社会情勢の変化に応じたお客さまへの提案と、変わらぬサービスを提供できる適正価格を設定し、付加価値を高めていきたい。新たな成長と未来への飛躍に向けて一丸となってまい進する。

生産性と人材育成が鍵



コロナ禍は三つの爪痕を残した。一つ目は人手不足の深刻化。二つ目にサービスの取捨選択。そして三つ目は脱グローバル化だ。生産性と人材育成が鍵となり、地域という単位で真にお値打ちな商品・サービスを組み立てられた企業が生き残る

のである。ここからは、現状維持はワーストシナリオだ。課題解決を通じて、変える、変わろうとする姿勢こそが次の戦略を作っていく。創造、先取り、挑戦を胸に目標を高く掲げ、まい進していきたい。

情熱を持ち諦めず行動



社員一人一人が自身の成長に向けて目標を明確にしてほしい。目標はできる限り高いものがいい。次に、目標に向けてどうしたら到達できるか、何をしたら実現できるか、とこころをえ抜いてほしい。

うまくい
かない時は
修正すれば
いい。諦めないことが大事だ。実行、行動に移してほしい。考えるだけで動かないことには何も始まらない。情熱、熱い心が必要れば何もなし得ない。知恵、行動そして情熱、新たな挑戦を開始しよう。

ニーズ素早くキャッチ



昨年はコロナ禍で大変厳しい環境だったが、皆さんの知恵と頑張りで最高益の更新ができた。今年はずき年。大きな目と大きな耳で素早くお客さまのニーズをキャッチして、お客さまに寄り添った提案と時流に即した素早い変革でスポーツ業界での確固たる地位を築いていこう。接客業の当社はお客さまから「ありがとう」と言ってもらえる感動の接客と商品の提供が鍵になる。失敗を恐れずにお客さまのために何ができるか考え、行動していこう。